

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	ドイツ語 B	
科目基礎情報							
科目番号	05204			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	一般教育			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	Schritte international A1/1 Hueber						
担当教員	谷口 祐美子						
到達目標							
(ア)時間の表現を正しく使うことができる (イ)分離動詞を正しく使うことができる (ウ)4格を正しく使うことができる (エ)不規則動詞を正しく使うことができる (オ)助動詞を正しく使うことができる (カ)現在完了形を正しく使うことができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)	時間の表現を正しく使うことができる。			時間の表現を使うことができる。		時間の表現を使うことができない。	
評価項目(イ)	分離動詞を正しく使うことができる。			分離動詞を使うことができる。		分離動詞を使うことができない。	
評価項目(ウ)	4格を正しく使うことができる。			4格を使うことができる。		4格を使うことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	ドイツ語Aで学習した基礎を前提としたクラスです。引き続きアクティブな練習を通して、基本的なコミュニケーション力をつけることを目標とします。ドイツ語Aと同様に「発話すること」と「聞くこと」に慣れることが最重要課題です。グループやペアでの練習による参加型授業を進めます。						
授業の進め方・方法							
注意点							
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	L 1～L4 復習		L 1～L4 で学習した表現が理解できる。		
		2週	L5 時間		時間に関する表現が理解できる。		
		3週	L5 分離動詞		分離動詞が理解できる。		
		4週	L5 一日の出来事		一日の出来事に関する表現が理解できる。		
		5週	L5 語順		ドイツ語の語順が理解できる。		
		6週	L6 天気		天気に関する表現が理解できる。		
		7週	L6 注文する		注文に関する表現が理解できる。		
		8週	L6 4 格 否定冠詞		4 格、否定冠詞が理解できる。		
	4thQ	9週	L6 不規則動詞 2		不規則動詞 2 が理解できる。		
		10週	L7 助動詞 können		助動詞 könnenの活用が理解できる。		
		11週	L7 助動詞 wollen		助動詞 wollenの活用が理解できる。		
		12週	L7 現在完了形 1		現在完了形 1 が理解できる。		
		13週	L7 現在完了形2		現在完了形2が理解できる。		
		14週	助動詞と現在完了形 補足		助動詞と現在完了形が理解できる。		
		15週	まとめ		まとめを通してドイツ語の基礎が理解できる（活用できる）。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	中間試験			定期試験		合計	
総合評価割合		40		60		100	
基礎的能力		40		60		100	